

長良川森林計画区の概要

1 計画区の概要

- (1) 長良川森林計画区は、岐阜県中西部を南下する長良川の流域221千ha（岐阜県面積の21％）で、所在する森林の面積は166千haを対象としており、うち国有林野は3千ha。
- (2) 当計画区の国有林野は、長良川の源流部や都市近郊などに点在。古くから人工林化が進み、国有林野の約6割が人工林。また、流域の水源、山地災害防止としての役割や身近な都市近郊の森林として緑とのふれあいの場、生活環境保全の発揮等の役割への期待が大。
- (3) 森林構成は、人工林が58％、天然林が42％、人工林の樹種割合はスギが28％、ヒノキが60％。



2 事業量

計画期間における伐採、更新、保育、林道、治山の事業総量は以下のとおりです。

①伐採総量 (単位：m³)

区分	本計画	前計画
主伐	4,900	2,997
間伐	16,474	7,719
臨伐	2,126	984
計	23,500	11,700

②更新総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
人工造林	3	10
天然更新	—	—
計	3	10

③保育総量 (単位：ha)

区分	本計画	前計画
下刈	35	64
つる切	33	56
除伐	64	177
枝打	—	29

④林道の開設及び改良の総量

区分	本計画	前計画
開設	路線数	—
	総延長(m)	—
改良	箇所数	14
	延長量(m)	690

⑤治山事業

区分	本計画	前計画
保全施設	山腹工	2
	溪間工	8
保安林の整備	77	330

※ 用語については、中部森林管理局ホームページ（森林計画等の用語の解説）を参照して下さい。